

サーキュラー・キー（オーストラリア）

シドニーの中心市街地、歴史的建造物が多く残るロックス地区、そしてオペラハウスに囲まれたシドニーの顔と言える港です。日中は通勤客や観光客で賑わっていますが、夜は仕事帰りの人々を乗せたフェリーが静かに行き交っています。



世界の港

古代より国内外を問わず人やものの結節点として、活発な交流の場となった港。
今回は世界のさまざまな港を紹介します。



写真提供：釜山広域市

釜山港（韓国）

太平洋とユーラシア大陸を結ぶ関門の役割を担っている世界有数のコンテナ港湾です。1870年、釜山浦という名で開港した釜山港は、山と島々に囲まれ、港内水面は穏やかで潮の干満差が少なく、さらに世界の幹線航路に接するなど天恵の港湾条件を備え、持続的な港湾開発を通じてコンテナターミナルと国際旅客ターミナル等を備えたグローバル港湾に発展しました。現在、増加するコンテナ取扱量に対応するため釜山新港開発が進められており、今後のさらなる発展が期待されています（2015年に完工予定）。

＝ CLAIRメルマガ読者募集中！ ＝

観光、物産、交通、IT、環境など海外お役立ち情報満載のメールマガジンを好評配信中
右の二次元バーコード、または“CLAIRメルマガ”で検索、登録をお願いします



マルセイユ港 (フランス)

紀元前より交易で栄えたマルセイユ。地中海最大の玄関港となった今も、旧港は当時の佇まいをしのばせます。



写真提供 : Getty Images

リバプール港 (イギリス)

近世を代表する港町。当時の施設が残る港湾地区は世界遺産に登録されています。



写真提供 : Getty Images

シンガポール港 (シンガポール)

取扱貨物の約85%は積み替えコンテナ貨物。主要なコンテナターミナルは、タンジョンパガー、ケッペル、プラニ、パシルバンジャンの4か所に位置しており、2012年時点で現在52のバースが稼動しています。



写真提供 : Getty Images



写真提供 : Getty Images

ボストン港 (アメリカ合衆国)

世界史上の大事件の舞台ともなったボストン港。



写真提供 : Getty Images

上海港 (中国)

世界最大の貨物取扱量を誇る上海港。中国の発展とともに、今後もさらなる拡大が見込まれます。